

洗剤のよい香りが着る時まで続く、当社独自の「香りつづくメカニズム」

洗濯は 洗浄→すすぎ→乾燥 という工程で進みます。洗剤は洗浄時に投入するため、洗剤中の香料は洗浄やすすぎ後の脱水で流されてしまい、繊維に香りを残すことは難しいのが現状でした。そこで、当社調香技術センターは、香料素材の組み合わせにより、“洗剤で洗濯”しても衣類に香りを残す技術開発に取り組みました。その結果、残香性が高いフルーツ系香料素材の中でも甘さのある“ラズベリーケトン”に加え、香りのリフトアップ（増強）効果があるハーブタイプの“サリシレート”を組み合わせることで、すっきりとした甘い残香が長続きする新たな知見を得ました。

さらに、当社ファブリックケア研究所は、香料成分との親和性が高く、また繊維へ高い吸着性のある物質を検討し、カチオン性界面活性剤の一つに残香性の向上効果が高いことを見出しました。“ラズベリーケトン”と“サリシレート”を活用した「新ブレンド香料」と「香りキープ成分（カチオン性界面活性剤）」により、“洗剤で洗濯”するだけで衣類への残香性を向上させる技術開発に成功しました。

『香りつづくトップ』は、柔軟効果のある洗剤の香りとして嗜好性の高いカモミールのこちよい香りに洗い上げ、「香りつづくメカニズム」の技術により、着る時まで香りが続きます。

